

プレスリリース

2014年2月27日

BDP-105DJP, BDP-105JP, BDP-103DJP および BDP-103JP ファームウェアアップデートのお知らせ

OPPO Digital Japan 株式会社(本社:東京都港区)は、BD プレーヤーBDP-105DJP／BDP-105JP／BDP-103DJP／BDP-103JP および BDP-105D／BDP-105／BDP-103D／BDP-103 につき、さらなる品質向上を目的としてファームウェアのアップデートを実施いたしました。今後とも、当社製品をご愛用賜りますようお願い申し上げます。

BDP-105DJP／BDP-105JP／BDP-103DJP／BDP-103JP 機能追加の概要

- 本項目は、BDP-105DJP／BDP-105JP／BDP-103DJP／BDP-103JP 共通です。
- 内容は2014年2月20日現在のものであり、変更される場合があります。

今回のファームウェアアップデートについての重要なご案内

1. 本ファームウェアを適用する場合、過去にリリースされた正式版およびベータ版のファームウェアに書き戻すことができなくなります。本ファームウェアを適用しても、将来の正式版およびベータ版のファームウェア適用に支障はありません。通常の利用において、お客様が過去のファームウェアに戻す必要は一切ございませんので、OPPO Digital 社製品をお使いの際は常に最新のファームウェアをお使い頂きますようお願い申し上げます。
2. メジャーバージョンのファームウェアアップデートを適用する場合、ファームウェアアップデート後に工場出荷時にリセットする必要があります。ファームウェアアップデート後にリセットしないでご利用になると、不安定な状態となり正常な動作になりません。諸設定についてファームウェアをインストールする前にメモ等にご記入いただき、ボリューム値を含めた諸設定を行

ってからメディアを再生してください。

機能追加の内容

1. ギャップレス再生時のパフォーマンスを改善し、FLAC ファイル再生時のギャップレス再生に対応しました。
2. ギャップレス再生時に生じていたトラックタイトルが正常に取得されない、反応しなくなるなどの問題を解決しました。
3. WAV ファイルのギャップレス再生時に List 情報がヘッダーに含まれていると、正常に再生されないことがある問題を解決しました。
4. HDMI 入力端子での HDMI ハンドシェイクのパフォーマンスを改善しました。
5. Panasonic 社製 4K テレビの一部のモデルで HDMI 2.0 入力端子に OPPO Digital 社製品の HDMI 出力を接続した場合、テレビ内蔵スピーカーから音が出なくなる問題を解決しました。
6. McIntosh 社製 AV アンプ MX150/151（日本未発売）と HDMI1 出力経由で接続した場合の互換性を向上させました。
7. WEP 方式の暗号化処理を施しているアクセスポイントに Wi-Fi 接続した場合に、接続が失敗することがある問題を解決しました。この問題はファームウェアバージョン 67-1204 から発生していました。
8. DVD-Audio ディスクを再生した場合に、トラックの先頭が途切れることがある問題を解決しました。この問題が発生していたディスクの例として"Queen: A Night At The Opera", "Buena Vista Social Club", "Beatles: Love", "R.E.M.: New Adventures in Hi-Fi"があります。この問題はファームウェアバージョン 67-1204 から発生していました。
9. メタ情報が特殊な位置に埋め込まれている WAV ファイル、FLAC ファイル、AIFF ファイルを再生した場合に、スキップされる、ノイズが発生する、プレーヤーがフリーズするといった問題を解決しました。本バージョンでは多くのメタ情報の対応状況について改善されています。
10. プレーヤーの HDMI オーディオ出力設定がビットストリームになっている場合で、Dolby

TrueHD 5.1 および 7.1 で収録されたオーディオトラックを再生した際に、音声信号が途切れることがある問題を解決しました。

11. OS X を搭載する Mac と BDP-105 を接続してデータ再生を行った場合に、ヘッドホン出力を含むアナログ信号出力からノイズが発生することがある問題を解決しました。
12. BDP-105 が DSD 再生モードになっている場合で SACD を再生した際、トラック切り替え時に曲の冒頭部分でヘッドホン出力を含むアナログ信号出力からノイズが発生することがある問題を解決しました。
13. 480/24P, 720/24P でエンコードされた動画ファイルの再生時に、オリジナルのフレームレートを維持するモードが追加されました。これまでアップスケーリング処理をするとフレームレートが 60Hz で固定されていたのが、例えば 1080P の出力に設定した場合には、720/23.976P のコンテンツは 1080/23.976P に、720/24P のコンテンツは 1080/24P で再生されるようになります。
14. インスタントリプレイ機能が追加されました。リモコンの「AB REPLAY」ボタンを 1 秒以内に 2 度押すと、自動的にビデオが 10 秒分巻き戻って再生されます。
15. DLNA 経由での CUE ファイルの読み込みならびに DSD64 フォーマット (2.8MHz DSD, DFF ファイルおよび DSF ファイル) の再生に正式対応しました。ただし、DLNA サーバー側が各ファイル形式をサポートしていることが必要となります。
16. AV アンプの HDMI 出力とプレーヤーの HDMI 入力とを接続した状態で AV アンプの HDMI 入力とプレーヤーの HDMI 出力とを接続した場合に、HDMI ハンドシェイクに失敗することがある問題を改善しました。ただし、ループになる接続方法は HDMI のハンドシェイクや CEC の動作に予期せぬ問題を発生させる虞があることから、このような接続方法は推奨いたしません。
17. プレーヤーのフロントパネルと TV 画面表示に DSD ファイル再生時用の表示が追加されました。DSD 信号を HDMI 経由で出力する場合にはフロントパネルの「SACD」アイコンが点灯し、TV 画面表示ではトラックタイプに「DSD」と表示されます。DSD 信号を PCM 信号に変換して HDMI 経由で出力する場合には、フロントパネルの「SACD」および「PCM」アイコンが点灯し、TV 画面表示ではトラックタイプに「DSD to PCM」と表示されます。

18. ディスク再生の全般的な互換性が向上しました。

BDP-105D／BDP-105／BDP-103D／BDP-103 ソフトウェアアップデートのご案内

- 上記の内容につきましては、BDP-105D／BDP-105／BDP-103D／BDP-103 をお使いのお客様につきましても、ソフトウェアアップデートで対応いたします。
- 内容は現時点でのものであり、変更される場合があります。

BDP-105 および BDP-103 の無償アップデートサービスについて

インターネット接続環境をお持ちでないお客様を対象として、(株) エミライ取り扱いの BDP-105 および BDP-103 につき、無償でのアップデートを実施しております。アップデートのお申し込みは、直接当社までご連絡ください。

無償アップデートの対象は以下の条件を満たすお客様は以下の通りです。

- 個人および法人のお客様であること
- (株) エミライまたは当社においてユーザー登録がお済みであること

以上

<会社概要>

社名：OPPO Digital Japan 株式会社

〒107-0062 東京都港区南青山2丁目11番13号

代表番号：03-5759-4750

FAX 番号：03-6779-5481

Web サイト：<http://www.oppodigital.jp/>

オンラインショッピングサイト：<https://shop.oppodigital.jp/>

<お問い合わせ先>

【電話でのお問い合わせ】

TEL：03-5759-4750

受付時間：平日：11:00 から 18:00 まで

【メール・FAX でのお問い合わせ】

Mail：sales@oppodigital.jp

FAX：03-6779-5481

受付時間：年中無休・24 時間受け付け

【問い合わせフォームでのお問い合わせ】

<http://www.oppodigital.jp/contact/>

受付時間：年中無休・24 時間受け付け

※ プレス関係者様・販売店様はその旨ご連絡下さい。